

成功への道筋が見えて来る！かがわの産業界の今をお届けする

かがわ産業情報 21

KAGAWA INDUSTRY INFORMATION 21

1

2020 | vol.75

年4回発行



【特集】

香川県信用保証協会と連携強化で覚書を締結
「かがわ菓子まつり・希少糖まつり」が開催されました！
県内の小学校で希少糖出前講座を開催しました！

かがわ糖質バイオフォーラム

第12回シンポジウムを開催します

「知財マッチング in かがわ2019」を開催しました

【かがわ発！元氣創出企業】

「株式会社キョーワ」

昔からのつながりと
長年培った技術力が
新たな活路を生み出す

理事長新年のご挨拶

【TOP NEWS】

企業経営者と知事との
意見交換会を開催しました！



公益財団法人
かがわ産業支援財団
KAGAWA INDUSTRY SUPPORT FOUNDATION

<https://www.kagawa-isf.jp>



新年のご挨拶

公益財団法人 かがわ産業支援財団
理事長 大津 佳裕



新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、当財団の事業の推進に格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

平成から新しい令和の時代となった昨年は、ラグビーワールドカップ日本代表チームがベスト8に躍進する活躍で、大いに盛り上がりました。今年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催される年です。活気にあふれた、明るい年になることを心から願っています。

さて、産業面では、第四次産業革命のイノベーションの中核となるAI、IoT、ICTなどの新しい技術の開発、活用が求められています。このような中、企業の皆様からは、先端技術の導入や生産性向上を図るために必要となる情報技術分野の人材の育成・確保や研究開発資金の確保が課題であるという声を多くお聞きしています。

かがわ産業支援財団では、こうした県内企業の課題解決に向けて、本年も、香川県をはじめ大学・高専、試験研究機関、金融機関、支援機関の皆様と連携協力して、総合的な支援に努めてまいりたいと存じます。

まず、「新かがわ中小企業応援ファンド等事業」により、研究開発、販路開拓、生産性向上、人材育成等の取組みを助成してまいります。平成21年度から実施してきた「かがわ農商工連携ファンド事業」については、これまでに108件の事業を採択し、農林漁業者と中小企業者が連携して取り組む新商品開発や販路開拓を支援してきました。10年間の事業期間が終了したため、令和元年度で事業を終えますが、令和2年度からは、「新かがわ中小企業応援ファンド等事業」の中で、引き続き農商工連携支援を行います。現在、令和2年度事業を募集中ですので、ご活用いただきたいと思います。

創業支援では、「かがわ創業塾」を開講し、専門家による実践的な講義を実施するとともに、相談対応を行います。また、1月23日には創業シンポジウムを開催し、創業事例の発表や先輩創業者との交流を行うほか、2月5日には革新的なベンチャー企業の発掘と育成を目的に実施している「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2019」の公開プレゼンテーションによる最終審査を行います。

販路開拓では、昨年は三菱電機株式会社伊丹製作所と展示商談会を行いました。今年も、県内ものづくり企業の優れた技術や製品を大手企業に直接提案して新たな販路開拓を目指す機会を設けたいと考えています。食品分野では、2月、3月に、首都圏で開催される国内最大級の食品関連見本市であるスーパーマーケット・トレードショー及びFOODEX JAPANに香川県ブースを出展し、本県の食品産業をPRすることとしています。

また、当財団内に開設している「よろず支援拠点」、「プロフェッショナル人材戦略拠点」、「知財総合支援窓口」、「事業承継支援窓口」では、企業が抱える様々な悩みや課題の解決に向けた相談対応を行い、経営改善や攻めの経営、競争力強化などの実現を応援します。

さらには、研究施設「RISTかがわ」において、企業との共同研究や受託研究、機能性表示食品の開発支援などを行うとともに、財団が管理運営する県有施設「ネクスト香川」、「FROM香川」では、新規産業創出や産学官共同研究を引き続き支援してまいりますので、これらの施設を有効にご活用いただければ幸いです。

本年も、本県産業の振興発展のため、ONE TEAM(ワンチーム)で、県内企業の支援に全力で取り組んでまいりますので、皆様方のなお一層のご理解とご協力をお願い申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

公益財団法人かがわ産業支援財団では、今回で16回目となる企業経営者と知事との意見交換会を11月5日、高松市内のホテルで開催しました。

今回は、「Society5.0を踏まえたICT技術の活用」をテーマに、企業経営者10名の皆様にお集まりいただき、県からは浜田知事、浅野商工労働部長、財団からは大津理事長、さらにオブザーバーとして県内中小企業の経営者8名が参加し、活発な意見交換が行われました。

令和元年度 企業経営者と知事との意見交換会



Contents

2020年1月 vol.75 発行(年4回発行)

かがわ産業情報 21

【理事長新年のご挨拶】	1
【トップニュース】	
企業経営者と知事との意見交換会を開催しました!	2
【特集】	
香川県信用保証協会と連携強化で覚書を締結	5
「かがわ菓子まつり・希少糖まつり」が開催されました!	6
県内の小学校で希少糖出前講座を開催しました!	6
かがわ糖質バイオフォーラム 第12回シンポジウムを開催します	6
「知財マッチング in かがわ2019」を開催しました	6
【支援事例紹介】	
株式会社オギタヘムト	7
「新かがわ中小企業応援ファンド等事業」の令和2年度事業を募集しています	7
【財団の活動】	
かがわ冷凍食品フォーラム 第7回シンポジウムを開催しました	8
サイエンスフェスタ2019(in 香川高専高松)にブースを出展しました	8
RISTかがわ機器利用講習会を開催しました	8
「FABEX関西2019」に香川県ブースを出展しました	8

「香川県新技術・新工法展示商談会in三菱電機㈱伊丹製作所」を開催しました ～香川のものづくり企業の新技術・新工法を三菱電機株式会社伊丹製作所に直接アピール～	9
「四国ビジネスマッチング2019(合同広域商談会)」を開催しました	9
「モノづくり受発注広域商談会」を開催しました	9
『かがわ地場産業商談会2019』を開催!	10
「HOSPEX Japan 2019」に香川県ブースを出展しました	10
【財団からのお知らせ】	
「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2019」 ～最終審査に残ったビジネスモデルの公開プレゼンテーション～	
「かがわ発!先進的ビジネスモデル2019」～大賞、優秀賞を表彰します～	11
「FOODEX JAPAN 2020」に香川県ブースを出展	11
「第54回スーパーマーケットトレードショー2020」に香川県ブースを出展	12
香川大学大学院地域マネジメント研究科ビジネススクール 「地域の中小企業と経済活性化」 ～企業経営の第一線で活躍する講師による公開講座を開催中!～	12
【かがわ発!元気創出企業】	
昔からのつながりと長年培った技術力が新たな活路を生み出す 株式会社キョーワ	13

葵機工(株)

常務取締役 山中 治

事業概要 精密機能部品加工及び組立

主に自動車のエアバック部品を生産しており、1日24時間のうち、夜間を自社独自の予測管理技術により完全無人稼働で対応している。品質保証の要求に応えるため、IoT技術を使った生産管理や予防保全を行っている。今年度、県のAI補助金を活用し、製品の外観検査を人的判定からカメラによるAI判定へと置き換え、品質改善に繋げている。課題は、ソフト開発できる人材の確保、協力工場の開拓、物流コストの削減、定年再雇用者の支援制度の拡充であり、行政の後押しをお願いしたい。

知事

IoT、AI等の活用ができる人材の育成・確保は極めて重要であり、「かがわAIゼミナール」や各種技術研修会を実施しているので、活用頂きたい。協力工場の開拓では、財団の広域商談会等も活用頂きたい。物流コスト削減については、関係機関とも話をしてみたい。定年再雇用問題は、国も様々な支援制度を設けており、情報提供して参りたい。



アオイ電子(株)

取締役社長 中山 康治

事業概要 IC、LED等の電子部品製造

IC、LED、プリントヘッド等の電子部品の製造を行っており、IC組立工程においては、1万品種を超える少量多品種に対応するため、IoTを活用した生産管理に取り組んでいる。特に車載関連では、生産設備のオンライン化や工程内の自動搬送化などにより、生産工程の革新を進めている。課題は、こうしたシステムの構築に対応できる情報技術者の不足及びIoTにより設備を繋ぐための費用の増大であり、助成制度があれば活用していきたい。

知事

財団では、香川高等専門学校の協力も得て、組み込み技術やシステム開発に必要な業務分析等の研修を行っているので活用頂きたい。今後、県としても情報通信関連産業の育成・誘致やICT系人材の育成に積極的に取り組みたいと考えている。国・県では、研究開発や生産性向上のための様々な助成金を設けているので、ご相談頂きたい。



(株)五星

代表取締役社長 武内 和俊

事業概要 土木分野の調査・計画・許認可対応・設計

建設コンサルタント業と3Dレーザースキャナやドローンを活用した測量業を行っており、昨年度は3D測深機の導入など、先端的機材の充実を図った。また、自社開発した地理情報システムにより、固定資産税の課税支援事業を展開しており、現在、地目判読のAI化にも挑戦中で、いずれは道路、橋など社会基盤の点検評価への応用を計画している。このような先端的な技術や機材が活用できるよう、公共事業の発注方法について、同業種連携の承認など柔軟な対応をお願いしたい。

知事

建築では、設計共同企業体を認めた実績はあるが、土木で



は、実績が無いので、今後、他県の状況を確認したうえで必要性を検証していきたい。先端的な技術や機材を入札条件とすると、一般論として競争性が失われたり、地元企業が参加できなくなるなどの問題点があるが、この点については、今後、国の方針も改善されていくのではないかと考えている。

(株)コヤマ・システム

取締役社長 佐野 弘実

事業概要 ソフトウェア作成・それらの関連事業

IT技術でものづくりの付加価値向上を図るため、製造現場の安定稼働を実現するための設備監視ドライブレコーダーの開発、販売を行っている。また、乳牛の「削蹄電子カルテ」や、中小企業が少額の初期投資でシステム開発できる「育てるアプリ」の開発、販売にも力を入れている。しかし、企業間のIT格差は大きく、中小零細企業のシステム導入は、まだまだ敷居が高いため、リテラシー向上のための施策や、アドバイスができる機関連携が必要だと考える。

知事

ITを活用できる企業を拡大していくためには、人材育成が不可欠となるため、県で実施している「かがわAIゼミナール」等を活用頂きたい。加えて、財団の新かがわ中小企業応援ファンド等事業は、ITの先端技術にも活用できるので、是非活用頂きたい。また、ITに関する相談については、産業技術センターのIoT・AI相談窓口や、財団のよろず支援拠点をご紹介して頂きたい。



四国計測工業(株)

専務取締役 藤川 智

事業概要 四国電力の連結子会社である製造メーカー

当社は主に、電力関係設備製造およびメンテナンス工事等を行っている。制御システムを得意としているが、最近では画像処理技術を用いて、医療関係でインフルエンザワクチン製造に必要な有精卵の自動検卵装置を開発した。今後も、画像処理技術やAI技術を使って開発を進めていきたい。県への要望として競争入札条件の緩和をお願いしたい。また、事故防止の観点から、ICTを取り入れて、悪質な交通違反を防止することも検討してはどうか。

知事

事故防止に繋がる高度道路交通システムは現在、国が主体で取り組んでいるが、自動運転技術では、香川大学などによる公道実験も行われている。県でも、高齢者の運転診断なども実施しているが、死亡事故の抑止は喫緊の課題であり、新しい技術なり知見があれば、是非ご紹介頂きたい。入札の件は、施工管理実績も必要と考えており、ご理解頂きたい。



(株)ジョーソンドキュメント

代表取締役 川田 辰男

事業概要 産業機器及び設備等に関連するドキュメントの受託開発事業

当社の主な事業は、産業機器や設備などの操作手順書やマニュアル類などの受託開発であるが、最近



では、XR技術を取り入れたドキュメント作りにも取り組んでいる。XR技術の導入で、企業で行われている教育訓練や研修などのスタイルは様変わりすると考えており、安全体感型教育ツール、技術継承ツール、トレーニングツール、プレゼンテーションツールなどの開発を進めていきたいと考えている。香川県が将来、ICT系ベンチャー企業が集まるような、ICT先進県に発展できるよう、ご尽力をお願いする。

知事

学校現場では、プログラミング教育など情報教育への対応が進められているが、県としても、時代の要請に対応できるよう、ICTを活用した教育の充実に努め、創造性に富んだ人材を育成していきたい。教育も産業振興も双方において、情報通信関連産業の育成・誘致、人材の育成に取り組み、県内企業の競争力促進に繋がるように今後も取り組んでいきたい。

(株)タイホー

代表取締役専務 今治 安弘

事業概要 各種軸受部品の製造及び、機械設備の開発、設計、製作とオーバーホール



主にベアリング及び自動車部品関係の旋削・熱処理工程において、外観検査の自動化に取り組んでいる。最近では、ロボットと検査装置を組み合わせる箱詰め作業の自動化も推進している。課題は、ものづくり人材の確保が困難なことである。昨年よりベトナム人の技能実習生を採用しているが、今後は、外国人労働者も都市部に流れる恐れがある。地元での就職を希望する人が選べる技術系の学校、専門学校の拡充や、ものづくりへの補助金の拡充が必要と考える。

知事

県内には、基礎技術習得のための県立高校工業科、職業訓練のための県立高等技術学校や私立専門学校、四国職業能力開発大学校があり、また、大学、高専とも連携し、技術系人材の育成に努めていきたい。外国人労働者については、人材が定着するような取組みを進めていきたい。また、補助金については、国・県で様々なメニューを設けているので、経産局と連携し情報提供に努めていきたい。

(有)電マーク

代表取締役 中野 裕介

事業概要 2018年度総務省「異能vation破壊的挑戦部門」最終選考



当社は、2018年に、総務省の「異能vation破壊的挑戦部門」で、鶏の雛の雄雌をAIで鑑別する技術を提案し、四国で初めて最終選考に選ばれ、その解析に取り組んできた。今後は、雌雄鑑別技術の海外展開や、香川の卵用「讃岐コーチン」での雌雄鑑別技術の確立に取り組み、香川県産品種の輸出、さらには海外で広がる日本食ブームに貢献したいと考えている。そのために、養鶏産業の安定に繋がる技術開発に取り組むべく、畜産試験場等との連携ができるような機会を頂きたい。

知事

畜産試験場は、一般的な技術を公共のために活用する場であることから、御社の専門知識である雌雄鑑別技術と畜産の専門分野をうまく連携させるためには、まず、商工労働部あるいは財団に相談頂ければ話が繋がります。また、

具体的な海外展開の話については、ジェットロ等にどんどん持ち込んで、展開して頂きたい。

(株)パル技研

代表取締役 藪内 廣之

事業概要 産業用電子機器の研究開発、製造販売



画像センシング技術等をコア技術に自社製品を開発しているが、エンジニアの採用がままならず、危機感を感じている。学生の多くは大都市の大企業に目が向き、県内の魅力ある企業に気が付いていないので、企業情報をプッシュ型で積極的に情報配信すれば、県内企業への就職、U・Iターンに繋がると思う。また、AI・IoTの新しい技術では、中小企業のエンジニアの力量不足は否めないで、サポートや支援を頂ける公的機関の研究員等の人的強化が必要と思う。

知事

プッシュ型の情報発信として、県では、県内外への大学等進学者の将来的なUターン・県内就職を促進するため、県内企業の魅力や情報を発信する「KAGAWA未来応援BOOK」を希望者に送付しており、今後とも情報発信に努めていく。人的資源の強化については、産業技術総合研究所との連携や産業技術センター職員の能力向上などを行い、地元で支援ができる体制を作っていく。

メロディ・インターナショナル(株)

代表取締役 尾形 優子

事業概要 IoTにより、妊婦さんの安全を守ります



妊婦と胎児の状態を医師が遠隔でモニタリングできる国内初のIoT型胎児モニターを開発し、国内・海外で販売している。ここ10年、産婦人科医の減少や病院の集約化で産科施設が減少する一方、働く妊婦やリスクのある高齢出産は増えており、安心・安全な出産環境を提供するためには、行政や大学、企業などが課題を共有し、協力することが必要であると考えている。当社のような小さな企業だけで取り組むのは難しく、国内規制もあるので、ご協力をお願いしたい。

知事

医療分野での社会課題の解決には、先端技術の活用が必要である。県では、医療機関、福祉施設が参画した「かがわ健康関連製品開発フォーラム」を運営しており、医療福祉関係者からニーズを聴き取り、企業に繋ぐこととしている。こうした取組みを通じ製品開発に進んでいければと考えており、産業政策課とも情報交換を行って頂きたい。



香川県信用保証協会と連携強化で覚書を締結

香川県信用保証協会と公益財団法人かがわ産業支援財団は、中小企業・小規模事業者の支援等のため、相互に業務連携・協力を行うことで、地域企業支援の促進及び地域経済の発展を図ることを目的として覚書を締結しました。



日時 令和元年9月25日(水) 10:00～

場所 香川産業頭脳化センタービル1階 第1会議室

今後の具体的な取り組み

互いの支援施策を連携させ、財団の無料経営相談等を活用し、新規創業・新分野進出を含む中小企業者が直面する様々な課題に対し、協会の信用保証の活用による資金面での強力な支援が出来ると考えています(下記、ご紹介参照)。

加えて、両者が有する中小企業者とのネットワークを活用し、相互の支援施策を周知・紹介することで、利用者の拡大を図ることが出来ると考えています。

さらに、支援が必要とされる中小企業者を相互に紹介し、支援に関する情報を共有することで、中小企業者の経営の安定と強化に向けた支援をより一層効果的に推し進めることができると考えています。

ご紹介

「香川県中小企業振興融資制度」

香川県では、中小企業者を応援するため、信用保証協会及び金融機関等の協力により、中小企業者が直面する様々な課題に対する融資制度を設けています。原則として、信用保証協会の保証制度を利用いただくこととなりますが、全国統一の基準の保証料率から一定の引き下げを行い、利用者負担の軽減を図っています。事業を営んでいる方及び創業される方が金融機関から融資を受ける際に、信用保証協会の保証制度をご利用いただくことで、資金の調達がスムーズになります。

香川県信用保証協会からのお知らせ

経営者保証を不要とする事業承継特別保証制度のご案内

■事業承継時に利用可能

(事業承継後にも利用ができる場合もあり)

■経営者保証不要

経営者保証コーディネーターによる確認を受けた場合には
信用保証料率を大幅に軽減

経営者保証ありの既存の借入金
についても借換可能
(本制度で経営者保証不要に)

令和元年12月23日 事前相談受付開始

令和2年4月1日 保証申込受付開始

■ご利用いただける方

次の(1)又は(2)に該当し、かつ、(3)に該当する中小企業者

- (1)保証申込受付日から3年以内に事業承継を予定する事業承継計画を有する法人
- (2)令和2年1月1日から令和7年3月31日までに事業承継を実施した法人であって、事業承継日から3年を経過していないもの
- (3)次の①から④までに定める全ての要件を満たすこと
 - ①資産超過であること
 - ②EBITDA有利子負債倍率*が10倍以内であること
※EBITDA有利子負債倍率=(借入金・社債-現預金)÷(営業利益+減価償却費)
 - ③法人・個人の分離がなされていること
 - ④返済緩和している借入金がないこと

■お問い合わせ先

詳しくは、与信取引のある金融機関又は当協会までお問い合わせください。
香川県信用保証協会 事業部 TEL.087-851-0062

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 企業支援課
高松市林町2217-15 TEL.087-840-0391 FAX.087-869-3710

「かがわ菓子まつり・希少糖まつり」が開催されました！

11月9日（土）、10日（日）に高松市の丸亀町グリーンで希少糖の日※のイベント「かがわ菓子まつり・希少糖まつり」（主催：（一社）希少糖普及協会、香川県菓子工業組合）が開催されました。希少糖入り商品の販売や和菓子づくりのワークショップなどが行われ、会場は多くの来場者で賑わいました。

このイベントでは、全国に先駆けて、D-プシコース（アルロース）純品を使用した商品が販売されたほか、10日には、機能性表示食品となった「レアシュガースウィート」のお披露目セレモニーが行われました。



※（一社）希少糖普及協会が、11月10日をいい糖（1110）の日として「希少糖の日」に制定しています。

県内の小学校で希少糖出前講座を開催しました！

希少糖の魅力を知り、親しみを感ずるため、希少糖広め隊（隊長：（一社）希少糖普及協会 近藤代表理事会長）が、11月18日（月）に三豊市立上高野小学校で「うまいもん出前講座」を開催しました。同小学校5、6年生26名が参加したこの講座では、近藤隊長が講師を務め、希少糖や希少糖のはたらきについての説明や、D-プシコース（アルロース）純品を使った焼き菓子と、希少糖含有シロップ入りの紅茶の試食・試飲が行われました。



かがわ糖質バイオフィォラム 第12回シンポジウムを開催します

糖質バイオ関係の人的ネットワークの構築と糖質バイオ分野での研究・商品開発の更なる活性化を図ることを目的に、県内企業等による研究成果や商品開発取組状況についての紹介のほか、発表者同士による意見交換を行います。

希少糖、糖鎖・複合糖質等の糖質バイオ分野に興味のある方はぜひ御参加ください。

日時 令和2年1月29日（水）13:00～

場所 かがわ国際会議場



第11回シンポジウムの様子

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 産学官連携推進課
高松市林町2217-16 FROM香川 TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

「知財マッチング in かがわ2019」を開催しました

大企業等が保有する開放特許等の活用を通じて、県内企業の新たな事業展開や新製品開発を促進するため、今年度は、機械・電気・加工分野に加えて、新たに食品分野も追加して「知財マッチング in かがわ2019」を開催しました。

開放特許等を保有する大企業等にご協力いただき、それぞれ自社の開放特許の紹介及びパネル展示を行うとともに、県内企業との個別面談を実施するほか、開放特許活用セミナー「開放特許の活用でビジネスをつかむ！」～アイデアをヒントに新商品・新サービスを作る発想法～を開催しました。

個別面談を実施した県内企業からは、「書類ではわからない部分が具体的に分かり、アイデアを感じた。従来の製造とはちがう、新しい製造技術に展開できるかもしれない。」などの評価をいただきました。

【開催概要】

日時 令和元年11月13日（水）10:00～16:00

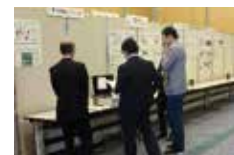
場所 サンメッセ香川 2階 サンメッセホール 中会議室

【参加企業等】

区分	参加大企業等	参加県内企業	面談件数
開放特許紹介	8社	24社 34名	—
パネル展示	12社	47社 69名	—
個別面談	8社	17社	50件
知財マッチングセミナー	—	23社 33名	—



開放特許紹介状況



パネル等展示状況



個別面談状況



知財マッチングセミナー状況

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部 知的財産普及課
高松市林町2217-15 TEL.087-869-9004 FAX.087-867-9365

株式会社オギタヘムト (三豊市)

テーマ 和紙繊維100%デニム素材製品の開発によるブランドの確立

目的

和紙繊維100%のデニム素材製品の開発とブランド確立に取り組み、自社の業績を向上させる。

事業内容

和紙系では染めにくいことが課題であったローブ染色※の問題を解決し、目標としていた和紙繊維(マニラ麻)100%によるデニムの試作品を完成させた。同社の調べによると、和紙繊維100%のデニムは初とのことである。

試作品については、経年変化の状態と実際の耐久性の確認を目的に、事業担当部長が自ら使用し検証するとともに、生地物の物性試験も行った。

物性試験の結果、和紙本来が持つ消臭力とUVカット性能は通常のデニム製品に勝り、耐久性も通常のデニムと同等の強度が確認された。

現在、販売価格の設定や量産化に向けての手配をするとともに、問屋やバイヤーと接触するなどし、2020年の販売を目指している。

※ローブ染色とは、主にデニム生地を染める方法で、ローブ状に束ねた糸をインディゴ染料の入った容器に入れて染める方法のこと。



Gジャン



Gパン

和紙糸で製作したデニム製品

通常デニムと比べ

- 約15%軽い
- やわらかい
- 消臭性がある
- uvカットする

などの優位性あり

「新かがわ中小企業応援ファンド等事業」の令和2年度事業を募集しています

平成29年度に造成した「新かがわ中小企業応援ファンド」などを活用して、県内の中小企業者等が新たに行う研究開発、販路開拓及び人材育成等の取組みを支援しています。

【募集している支援メニュー】

支援メニュー	対象事業	助成率限度額	採択予定件数
① 新分野等チャレンジ支援事業	新分野進出のための商品・技術の開発、試作品作成、実証試験、可能性評価等	2/3以内 100万円	7件程度
② 競争力強化研究開発支援事業	独創的な研究開発や特許権等を活用した付加価値の高い新製品・新技術の開発等	2/3以内 500万円	10件程度
③ 県外見本市出展支援事業	県外で開催される見本市等への出展	基本小間料 (35万円以内)	9件程度
④ 海外見本市出展支援事業	海外で開催される国際見本市・展示会への出展	80万円以内	5件程度
⑤ ものづくり生産性向上・スキルアップ支援事業	専門コンサルタントを活用した製造現場などにおける業務プロセス等の改善や技術・技能の向上にかかる人材育成事業	2/3以内 200万円	3件程度
⑥ 創業ベンチャー支援事業	創業しようとする者又は創業後間もない者などが行う、新規性、独創性のある先駆的な事業	2/3以内 200万円	3件程度
⑦ 農商工連携支援事業	農林漁業者と連携し、互いの経営資源や先端技術等を活用して、県内の中小企業者が取り組む新商品や新サービスの開発等	2/3以内 300万円	3件程度

【応募方法】

申請書様式等は、(公財)かがわ産業支援財団のホームページ(<https://www.kagawa-isf.jp/>)からダウンロードできます。応募にあたっては、所定の申請書様式と添付書類に必要事項を記載のうえ、各支援メニュー記載の申込先に提出してください。

【助成の対象となる事業の決定】

書類審査及びヒアリング等の後、専門家等で構成する審査会での審査を経て決定します。
申請者は審査会でプレゼンテーションを行っていただきます。

【募集期間】

令和元(2019)年11月27日(水)～
令和2(2020)年1月24日(金) 必着

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 ファンド事業推進課
高松市林町2217-15 TEL.087-868-9903 FAX.087-869-3710

新かがわ中小企業応援ファンド等事業

検索

かがわ冷凍食品フォーラム 第7回シンポジウムを開催しました

平成25年度に設置した「かがわ冷凍食品研究フォーラム」(会長:香川短期大学竹安宏臣教授)第7回シンポジウムを11月7日(木)に高松国際ホテルで開催しました。(参加者:52名)



講演

【演題】「冷凍食品業界の最新の動向」

【講師】一般社団法人日本冷凍食品協会専務理事 木村 均 氏



事例発表

①【演題】「伊吹島産カタクチイワシを使った冷凍「釜揚げいりこ」の商品開発と販路開拓」

【講師】株式会社キョーワ代表取締役 加地 正人 氏



②【演題】「『やわらか食』商品化の“Kiseki”」

【講師】株式会社エフアールフーズ丸亀工場開発部長 造田 浩史 氏



③【演題】「本県における野菜産地の現状と加工・業務用野菜の生産拡大に向けた取り組みについて」

【講師】香川県農政水産部 農業生産流通課 野菜グループ課長補佐 西田 剛 氏



サイエンスフェスタ2019 (in 香川高専高松) にブースを出展しました

令和元年10月26日・27日の二日間、皆楽祭(学生祭)と同時開催された「サイエンスフェスタ2019 in 香川高専(高松キャンパス)〜見て・作って・おもしろ科学〜」にかがわ産業支援財団として出展(電子レンジを使って作ろう)しました。

2日間で延べ3,486人の来場者があり大盛況のうちに終了しました。



RISTかがわ機器利用講習会を開催しました

RISTかがわ(地域共同研究部)では、開発装置や測定・分析装置を開放し、ご利用(有料)頂いています。今回、開放している技術開発装置・物性測定装置・分析装置等の県内企業による利用促進を目的として、機器利用講習会を開催しました。

開催日	機器名	目的・用途	講師
12月13日(金)	高速液体クロマトグラフ(ELSD)	糖類、糖脂質、アルコール、テルペノイド、界面活性剤等の高感度分析	(株)島津テクノロジー 加藤 理英 様

本年度整備したELSD検出器付き高速液体クロマトグラフについて、メーカー担当者から測定原理や分析対象等の説明をして頂くと共に当該機器を用いて、お茶の成分であるカフェインの分析を実習しました。

受講者からは、「自社の機器は、他社のものではあるが使用したことはあったが知らないことも多々あったので講習会がとても勉強になった。HPLC(高速液体クロマト)もソフトがとても便利そうだった。機会があれば是非利用したい」等の意見がありました。



講習風景

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 地域共同研究部
高松市林町2217-43 RISTかがわ TEL.087-869-3440 FAX.087-869-3441

「FABEX関西2019」に香川県ブースを出展しました

関西圏において、本県の主要産業の一つである食品産業の魅力を発信するとともに、県内企業の新たなビジネスチャンスを創出するため、「FABEX関西2019」に県内企業や農林漁業者を集めた香川県ブースを出展しました。関西最大の業務用「食」の総合見本市で、外食業者、中食業者及び小売業者等の専門バイヤーなど、約4万人が来場しました。

概要

会期 令和元年10月16日(水)～10月18日(金)
10:00～17:00

会場 インテックス大阪1号館
(大阪府大阪市住之江区南港北1丁目5-102)

主催 株式会社日本食糧新聞社

来場者数 39,724名

香川県ブース

出展者数 22事業者

出展成果 (数値は速報値)

商談件数	商談継続件数
770件	473件



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 ファンド事業推進課
高松市林町2217-15 TEL.087-868-9903 FAX.087-869-3710

「香川県新技術・新工法展示商談会in三菱電機(株)伊丹製作所」を開催しました ～香川のものづくり企業の新技術・新工法を三菱電機株式会社伊丹製作所に直接アピール～

三菱電機(株)伊丹製作所の御協力をいただき、県内企業31社及び香川高等専門学校詫間キャンパスが、自社の新技術・新工法を展示する商談会を開催いたしました。

会期中は、三菱電機(株)伊丹製作所、系統変電システム製作所、関連企業などを含めた236名が来場され、各ブースで出展企業との活発な商談が行われました。出展企業にとっては、三菱電機(株)伊丹製作所の多くの関係者に自社の技術等を直接提案するとともに、大手企業のニーズを把握できる絶好の機会となりました。財団では、今回の出展企業に対しフォローアップを行い、具体的な取引につながるようサポートをするなど、県内企業の販路拡大を積極的に支援していきます。

【開催概要】

日 時 令和元年10月17日(木)、18日(金)2日間
(1日目)13:00～17:00
(2日目)10:00～15:00

場 所 三菱電機(株)伊丹製作所
新本館(F301)1階 多目的ホール
(兵庫県尼崎市塚口本町8丁目1-1)

出展企業 県内企業31社及び香川高等専門学校詫間キャンパス

来 場 者 三菱電機(株)伊丹製作所、系統変電システム製作所等の担当者

主 催 香川県、公益財団法人かがわ産業支援財団



《三菱電機(株)伊丹製作所 来場者の声》

- 「知らない技術、普段使わない技術を多く知ることができた良い機会であった。」
- 「素材からソフトウェアまで多種多様な技術を持った企業が出展しており参考になった。」
- 「今後も継続的な開催を希望する。」といったコメントをいただきました。

《出展企業の声》

- 「限られた時間で多くの来場者と効果的に面談ができ、現場の方の生の声が聞けた。」
- 「伊丹製作所以外の部署や関連会社の方々も多く来場され、想定外の来場者数に驚いている。」
- 「自社の力だけでは名刺交換の機会すらない方々と直接情報交換ができる貴重な場であり、参加して良かった。」といった声が寄せられ、今後の展開に期待が持てる内容となりました。

「四国ビジネスマッチング2019 (合同広域商談会)」を開催しました

令和元年11月6日(水)、リーガロイヤルホテル新居浜にて「四国ビジネスマッチング2019 (合同広域商談会)」を開催。県内受注企業49社が参加しました。

日 時 令和元年11月6日(水)11:00～17:00

場 所 リーガロイヤルホテル新居浜
伊予の間・石鎚の間

主 催 中小企業庁

実施機関 (公財)とくしま産業振興機構、(公財)かがわ産業支援財団、(公財)えひめ産業振興財団、(公財)高知県産業振興センター、(公財)全国中小企業振興機関協会

対象業種 機械・金属加工、樹脂加工等

面談方式 「事前予約面談」と事前予約なしでの「フリー面談」の2方式

参加発注企業 全体(東北から九州まで)66社 香川県0社

参加受注企業 香川県49社 全体(四国4県)175社

面談件数 香川県176件 全体(四国4県)626件

面談結果 香川県受注企業

- ①商 談 成 立:0 件
- ②試 作 依 頼:0 件
- ③見 積 依 頼:36件
- ④図面検討依頼:35件
- ⑤後 日 訪 問:14件
- ⑥情報交換のみ:72件
- ⑦そ の 他:19件

合 計: 176件



「モノづくり受発注広域商談会」を開催しました

令和元年9月26日(木)、マイドームおおさかにて「モノづくり受発注広域商談会」を開催。県内受注企業15社が参加しました。

日 時 令和元年9月26日(木)10:00～17:00

場 所 マイドームおおさか 3階 展示ホール

主 催 中小企業庁

実施機関 (公財)ふくい産業支援センター、(公財)京都産業21、(公財)大阪産業局、(公財)奈良県地域産業振興センター、(公財)わかやま産業振興財団、(公財)鳥取県産業振興機構、(公財)とくしま産業振興機構、(公財)かがわ産業支援財団、(公財)高知県産業振興センター、(公財)全国中小企業振興機関協会

対象業種 機械・金属加工、樹脂加工等

面談方式 「事前予約面談」と事前予約なしでの「フリー面談」の2方式

参加発注企業 全体(東北から九州まで)1都2府17県)93社

参加受注企業 香川県15社 全体(2府7県)357社

面談件数 香川県42件 全体(2府7県)923件

面談結果 香川県受注企業

- ①商 談 成 立:0 件
- ②見 積 依 頼:9 件
- ③図面検討・試作依頼:9 件
- ④後日訪問・訪問約束:4 件
- ⑤面 談 の み:20件

合 計: 42件



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 取引支援課
高松市林町2217-15 TEL.087-868-9904 FAX.087-869-3710

『かがわ地場産業商談会2019』を開催！

地場産業の販路開拓支援を目的に、首都圏等の小売店やセレクトショップ等のバイヤーを本県に招き、製造現場等を視察するとともに商談会を開催しました。

【開催概要】

日時・場所 令和元(2019)年11月11日(月)

栗林公園商工奨励館(高松市)

令和元(2019)年11月12日(火)

旧善通寺偕行(かいこう)社(善通寺市)

(両日とも13:30~17:00)

主催 公益財団法人かがわ産業支援財団

対象業種 ①地場産業(食品除く)に関わる事業者
※本業として地場産業(食品除く)に関連する事業を営む事業者。

地場産業(食品除く)

手袋、カバン・袋物、ニット製品、製綿・寝具、織物、縫製品、桐下駄、家具、ちり紙、瓦、レンガ、陶管、植木鉢、石材、はかり、ボタン、漆器、和傘、うちわ

②県産品(食品除く)を製作する上記以外の事業者

参加セラー 30社

参加バイヤー 11社(小売店・セレクトショップや流通業者等)

株アクサス(香川県)	セレクトショップ
アテックス株(東京都)	小売店・卸
株エイトスペース(愛知県)	企画
CCCデザイン株(二子玉川蔦屋家電(東京都))	小売店
株サザビーリーグアイシーエルカンパニー(東京都)	小売店
株ラフォーレ原宿(東京都)	小売店
南西岡家具店(香川県)	小売店
南マーズ(神奈川県)	販売メーカ
丸亀町グリーン(香川県)	企画
株ジェイアール西日本伊勢丹(大阪府)	小売店
株WakuWaku Office(東京都)	セレクトショップ

内容 午前中、バイヤーが地場産業等の製造現場等視察を行い、午後からは、バイヤーがセラーの商談テーブルを回遊する形式の商談会を実施。



栗林公園商工奨励館



旧善通寺偕行社



企業視察



企業視察

商談成果

面談数	主な実績				
	成約	見積依頼	試作・サンプル依頼	後日訪問約束	その他
314	11	7	23	27	45

《参加セラーの声》

- とても実りのある会。今後のアイデアをいただくだけでありがたい。今後の方針決定の参考になりました。
- セラー同士の情報交換会もあればいいと思いました。同じ形式で県内版もしてほしい。
- 事前セミナーがあり、しっかり準備ができてよかった。

《参加バイヤーの声》

- 製造現場見学は今後のものづくりの参考になる。多業種の方と様々な意見を交わすことができて感謝。
- 身近に(商品の)背景を知れて勉強になった。熱心な人ばかりで、商売にあたり大切なものを持たれていると感じた。
- 日本ならではの文化や歴史があるものを現代に置き換えてデザインを変えて若い世代に伝えていきたいというセラーの手助けに、我々の施設がなっていければ嬉しいと思いました。

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 取引支援課
高松市林町2217-15 TEL.087-868-9904 FAX.087-869-3710

「HOSPEX Japan 2019」に香川県ブースを出展しました

県内のものづくり企業に対して、今後の成長産業として注目されている医療機器分野への新規参入等の促進を支援する取組みとして、医療福祉分野の総合展示会である「HOSPEX Japan 2019」へ香川県ブースを出展しました。出展企業5社にとって、首都圏を中心とする医療機器メーカーや病院・介護施設関係者に、自社製品・技術の提案やニーズを把握する絶好の機会になりました。

【概要】

会期 令和元年11月20日(水)~22日(金)

会場 東京ビッグサイト(東京都江東区有明)

主催 (一社)日本医療福祉設備協会、
(一社)日本能率協会

来場者数 14,846名(※速報値)

特色 ●医療全般から介護福祉、給食、医工連携など幅広い分野がテーマ
●日本医療福祉設備学会との併設展示会

【香川県ブース】

愛媛県と出展協力し、一体的なブースデザインで出展。

出展者数 5社

出展成果 (※速報値)

ブース来場者数	商談件数
549名	75件
試作等依頼件数	協議継続件数
8件	63件



《出展企業の声》

- 当社商品の認知度が上がっていることを実感するとともに、新商品に対しては、多様な意見をいただいた。
- 当初、医療機器関係の展示会出展への心配もあったが、予想以上の集客・結果を得ることができた。
- 普段お会いできない業種の方と繋がりができたので、良い機会となった。

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 健康産業プロジェクトチーム
高松市林町2217-16 FROM香川 TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2019」～最終審査に残ったビジネスモデルの公開プレゼンテーション～ 「かがわ発!先進的ビジネスモデル2019」～大賞、優秀賞を表彰します～

財団では、香川県の将来を担う革新的ベンチャー企業の創出・育成を図るため、平成23年度から、新しい独創的なビジネスモデルを募集し、コンペを行うとともに(かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ)、これとは別に、既にそうしたビジネスモデルを樹立させ、成功した先進的な事例を表彰してきました(かがわ発!先進的ビジネスモデル)。

9回目となる今年度は、昨年9月から公募を開始して、チャレンジコンペにおいては15件の応募がありました。2月5日(水)に開催される本選審査にて、一次・二次選考を突破したビジネスモデルが公開プレゼンテーションを行い、受賞者が決定・表彰されることとなります。併せて、先進的ビジネスモデル受賞者も同日に表彰・発表することとなりますので、是非、皆様のご来場をお待ちしております。



昨年度の受賞者

日 時	令和2年2月5日(水) 13:00～17:00
場 所	サンメッセホール大会議室(サンメッセ香川2階)
定 員	200名(先着順)
参加費	無料
プログラム(予定)	13:00 開 会 13:15頃 「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2019」プレゼンテーション 15:30頃 「かがわ発!先進的ビジネスモデル2019」表彰式・発表会 16:30頃 「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2019」審査結果発表・表彰式

(参考)

「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2019」本選審査・表彰式

公開プレゼンテーションを行い、審査員による審査により決定・表彰(最優秀賞1件、優秀賞2件)

- 最大200万円の助成金(最優秀賞のみ)
- 財団のインキュベータールームに入居する場合、賃借料を1年間無料提供(最優秀賞のみ)
- 県内金融機関による金利優遇ほかの支援(最優秀賞、優秀賞)

「かがわ発!先進的ビジネスモデル2019」表彰式・発表会

別途審査会で決定した受賞者について、表彰状及び記念品を贈呈して表彰し、ビジネスモデルを発表。(大賞1件、優秀賞2件)

「FOODEX JAPAN 2020」に香川県ブースを出展

香川県の主要産業の一つである食品産業の魅力を発信するとともに、関連する企業の販路開拓を支援するため、国内最大級の食品関連見本市「FOODEX JAPAN 2020」に、(公財)かがわ産業支援財団及び香川県が県内企業を集めた共同ブースを出展します。

「FOODEX JAPAN 2020」の概要

会 期	令和2年3月10日(火)～13日(金) 10:00～17:00 ※最終日は16:00まで
会 場	幕張メッセ(全館)
主 催	一般社団法人日本能率協会、一般社団法人日本ホテル協会、一般社団法人日本旅館協会、一般社団法人国際観光レストラン協会、公益社団法人国際観光施設協会
来場者数	80,426名(※昨年実績 国内:69,456名 海外:10,970名)
特 色	●70を超える国・地域から、出展者が集まるアジア最大級の国際食品・飲料展。来場者数は8万人にのぼり、国内だけでなく、海外からも多数のバイヤーが商談を目的に来場するため、国内外の販路拡大につながる。 ●試食・試飲や実演が可能。 ●県内企業が「香川県ブース」として「香川の希少糖ブース」とともに共同出展することにより、地域産品を求めるバイヤーに効果的にPRできるとともに、出展費用が抑えられる。



【香川県のブースについて(ブース名:香川の希少糖(香川県)/かがわ産業支援財団)】

出展規模	13小間(17.5m×5.4m)
出展場所	幕張メッセ(全国食品博ゾーン)
出 展 者	24者(香川の希少糖ブース含みブース全体として)

(かがわ産業支援財団ブース参加者:12者)

石丸製麺(株)、(株)エフディア、鎌田商事(株)、(株)CAVIC、(株)讃岐物産、(株)瀬戸内オリーブ、千金丹ケアーズ(株)、(株)高畑精麦、中野産業(株)、西野金陵(株)、(株)藤井製麺、(株)まんががん

(香川の希少糖ブース:希少糖関連商品を取り扱う12者)

アットハンド(株)ferment、洋、飯田農園、(株)伊吹島プロジェクト、(株)共栄食糧、(株)キングフーズ、讃岐罐詰(株)、(株)スミダ・リ・オリジン、タケサン(株)、(株)中野製菓、(株)ミトヨフーズ、安田食品工業(株)、(株)レアスウィート

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 企業支援課
高松市林町2217-15 TEL.087-840-0391 FAX.087-869-3710 E-mail.support@kagawa-isf.jp

「第54回スーパーマーケット・トレードショー2020」に香川県ブースを出展

香川県の主要産業の一つである食品産業の魅力を発信するとともに、関連する企業の販路開拓を支援するため、国内最大級の食品関連見本市「第54回スーパーマーケット・トレードショー2020」に、(公財)かがわ産業支援財団及び香川県が過去最大規模で県ブースを出展します。(県ブースの出展は平成22年度より実施)

【第54回スーパーマーケット・トレードショー2020の概要】

- 会 期** 令和2年2月12日(水)～14日(金) 10:00～17:00 ※最終日は16:00まで
- 会 場** 幕張メッセ(全館)
- 主 催** 一般社団法人全国スーパーマーケット協会
- 来場者数** 88,412名(※昨年実績)
- 特 色**
 - スーパーマーケット、百貨店、飲食店、卸、食品メーカー等のバイヤーが多数来場
 - 決済権を持つ経営者等を積極的に招待
 - 試食・試飲や実演が可能。
 - 県内企業が「香川県ブース」として共同出展することにより、地域産品を求めるバイヤーに効果的にPRできるとともに、出展費用が抑えられる

【香川県ブースについて】

- 出展規模** 28小間(12.0m×21.0m) **出展場所** 10ホール 10-208
- 出 展 者** 52社(中川塾含む)

アットハンド(株)、柿茶本舗(有)、(有)KOMATSU GARDEN DESIGN、瀬戸内讃岐工房(株)、せとうちラボラトリー、千金丹ケアーズ(株)、(有)筒井製菓、(株)鶴亀園、中野産業(株)、(株)中野製菓、(有)パイプライン、(株)藤井製麺、(株)ホリ、(株)まんがでん、(同)藻塩工房、(株)山田家物流、(株)レアスウィート、(株)アグリオリーブ小豆島、池田漁業協同組合、(株)吉太郎、(株)協栄岡野、(株)共栄食糧、(株)サンコウフーズ、宝食品(株)、タケサン(株)、タケサンフーズ(株)、丸島醤油(株)、盛田(株)小豆島町工場、安田食品工業(株)、中川塾、(株)エフディアイ、(有)さぬき鶏本舗、さんわ農夢(株)、白井の実ファーム、仁尾産商(株)、飯田農園、(株)キングフーズ、くりや(株)、(株)禾、(株)イツツミ、(株)紀州屋、共栄冷凍水産(株)、(株)讃岐物産、福弥蒲鉾(株)、(株)OIKAZE、サヌキ食品(株)、(有)岡坂商店、(株)グリーンパークまんのう、小豆島食品(株)、(株)瀬戸の香、(株)瀬戸内オリーブ、三豊オリーブ(株)。

- 特 徴 等**
 - 香川県ブースの出展者数が過去最大の52社予定(昨年度出展者数は44社)。
 - ブース内に「希少糖」、「小豆島」、「三豊市」、「さぬき市」、「観音寺市」ゾーン及び今年度は、「丸亀市」、「小豆島町商工会」、「まんのう町商工会」、「JAバンク香川」ゾーンを設け、関係企業を集めることで、バイヤー等来場者に香川県の食品を分かりやすく紹介する。
- (希少糖ゾーン4社、小豆島ゾーン12社、三豊市ゾーン5社、さぬき市ゾーン4社、観音寺市ゾーン5社、丸亀市ゾーン2社、小豆島町商工会ゾーン2社、まんのう町商工会ゾーン2社、JAバンク香川ゾーン2社、一般ゾーン14社)



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 企業支援課
高松市林町2217-15 TEL.087-840-0391 FAX.087-869-3710

香川大学大学院地域マネジメント研究科ビジネススクール「地域の中小企業と経済活性化」～企業経営の第一線で活躍する講師による公開講座を開催中！～

公益財団法人かがわ産業支援財団と香川大学大学院地域マネジメント研究科とは、地域を担う若手人材を育成することを目的に、企業経営等の第一線で活躍している講師による授業科目「地域の中小企業と経済活性化」を地域マネジメント研究科における提供講座として開講しています。

- 日 程** 講座概要一覧のとおり
- 時 間** 18:20～19:50(90分間)
- 場 所** 香川大学 幸町南キャンパス
又信記念館1階・特別講義室(高松市幸町2-1)
- 講 師** 講座概要一覧のとおり
- 開催形態** 公開講座(地域マネジメント研究科の学生に加えて、一般公募の申込によりどなたでも聴講できます。)
- 受 講 料** 無料
- お申込方法** 香川大学地域マネジメント研究科HPからもしくは受講申込書をダウンロードし、FAXまたはメールにてお申込ください。
- お申込先** 香川大学地域マネジメント研究科
香川県高松市幸町2-1
TEL:087-832-1900
FAX:087-832-1988
(土日祝を除く平日9:00～18:00)
MAIL:gsm-office@gsm.kagawa-u.ac.jp
HP:http://www.gsm.kagawa-u.ac.jp

【講座概要一覧】

	日程	講 師	講義概要
第14回	1月21日(火)	サヌキ畜産フーズ株式会社 代表取締役 増田 浩	日本一のとんかつ工場へのチャレンジ ～日本一に相応しい経営の姿と考え方～
第15回	1月28日(火)	ウインセス株式会社 代表取締役 橋本 勝之	失敗談お伝えします。 決算書に載らないリスク



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術進行部 産学官連携推進課
高松市林町2217-16 FROM香川1F TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

かがわ発! 元気 創出企業

香川県内の元気な企業を訪問し、その企業が発展してきた過程と躍進を続ける今、そして未来への指針についてお聞きする「かがわ発! 元気創出企業」。
今回は、三豊市にある「株式会社キョーワ」を訪ねました。



焼き網に乗せるとジュウジュウと音を立てて滴り落ちる脂。この美味な脂が、乾燥時には脂揚げの原因に



創業時にかけられていた
前社名の入った看板

昔からのつながりと 長年培った技術力が 新たな活路を生み出す

伊吹島の釜揚げいりこ以外にも、多くの自社ブランドを開拓している



「株式会社キョーワ」は、昭和31年に創業した冷凍食品メーカー。創業当時、三豊地区は冷凍食品製造の一大エリアで、同社はその製造を担っていた。その後、大手メーカーの海外移転、仕入れ先の自然災害など幾度となく大きなダメージを受けた同社。そのたびにゼロからの出発を図った。現在も昔からの繋がりのあった漁師さんたちとタッグを組み、新たなプロジェクトを手掛けるなど常に前進している同社。新たなプロジェクトに対する思いや今後の展開について加地代表取締役にお話を伺った。



代表取締役

加地 正人 氏



株式会社キョーワ

代表者 加地 正人 氏
所在地 三豊市豊中町岡本1207
電話番号 0875-56-6700
U R L <http://www.cookmasato.com/>



時代最先端を走った冷食事業 苦悩を味わいながらできることを

株式会社キョーワは、昭和31年に冷凍食品の加工場として創業。ちょうど香川が全国に先駆けて冷凍食品製造に力を入れていた頃だった。「当時は、近くの漁港でエビがよく獲れていた。加工したエビは主にアメリカ西海岸に輸出されていたようです」と代表取締役の加地正人氏は話す。その後、エビの漁獲量が減少したことで、海外からの輸入エビを仕入れることに。「その時仕入れたエビが国内産と比較するとひどく品質が悪かったんです。とはいえ、処分するのはもったいない。試行錯誤を重ねて生まれたのがエビフライでした」。その後、半調理済みの冷凍食品を大手の冷凍食品メーカーや学校給食などに卸す事業をメインに行ってきた同社。しかし、時代とともに大手メーカーの生産拠点が海外へと移り、安価な輸入品の台頭とともに利益が圧迫するように。従来からの商品を国産製品重視の生協市場などへ販売されることで売上げを保っていた。

だが2011年、東日本大震災が起き、仕入れ先で購入していた鮭が津波に流されてしまう。「その頃鮭フライの売上げが9割を占めていたので頭を抱えました。でも、社員やその家族のためにも、やめるにやめられない状況でしたね」。事業の縮小を余儀なくされたことで加地さんは、不確定な原料や大手メーカーへの依存など、これまでの経営姿勢を反省。ゼロからのスタートを決意したという。



伊吹島の漁師にとっても、新たなチャレンジとなるプロジェクト。4年経ち、理解が深まってきた



釜揚げいりこを使ったフライは、食べやすいと子どもたちからも好評



魚のフライのパッケージにも「純国産」の文字が。安心して食べられる、顔の見える材料だけを使うという強み



「伊吹島プロジェクト」として、各地のイベントで「釜揚げいりこ」の美味しさをPR

イワシで新たな活路を見出す！ それが「伊吹島プロジェクト」

「瀬戸際に立たされると人間は考えるものですね。安定した原材料の確保と販路の開拓をとことん考えました」。そして今から4年前、新たな取り組みをと昔からの繋がりがあった漁港に出向いた。それが「伊吹島プロジェクト」のスタートである。

伊吹島では、漁獲したばかりのイワシをポンプで吸い上げボイルして乾燥を行い、市場へ出すまでを一貫して網元で行っている。これが「伊吹いりこ」の特徴だが、網元で加工まで行うのは全国的には珍しいという。鮮度が良いうちに加工しているため、臭みがない。それが料亭でも珍重される上品なダシの原料の秘密だ。「地元の特産でもあるカタクチイワシをどうにか活用したいと考えました。そのうち、煮干しにできずに捨てられるイワシに着目するようになりました」。カタクチイワシは、例年6～9月に漁を行うが、夏以降に獲れるイワシは脂が豊富すぎて、乾燥の段階で酸化が進んでしまい、煮干しの原料としては不向きであることから廃棄されてしまう。アブライワシと呼ばれるそのカタクチイワシは脂のノリが最高。そのまま味わえば絶品だ。そこで塩ゆでし急速冷凍して「釜揚げいりこ」のブランドが誕生した。漁獲からわずか30分ほどで、そのままボイル。それを地場で冷凍することで高い品質を保つことができる。「はじめは1軒の協力でスタートしました。少しずつメンバーが増え、今では多くの網元さんが関わるプロジェクトになっています」。

今までと違ったやり方で 冷凍食品の新たな道を模索中

販売開始から5年。現在は漁協、そして網元の協力のもと「釜揚げいりこ」年間生産量300トンを目指している。「いわしにさらなる付加価値をつけることができたのは、もともと伊吹いりこというブランド力とそれを培ってきた網元さんの協力があったこそ。これからは販路を拡大したいですね。」ブランドとして注目されるような、ここにしかないものを提供することができるのは、さまざまな協力あってこそだ。

水産フライを中心に行ってきた既存事業でも商品開発に余念がない、エビフライに地元の小麦粉であるさぬきの夢と米粉、北海道産小麦「きたほなみ」を使うなどして、学校の給食に提供している。「学校の栄養士さんから、子どもが食べるようになった、残食が減った、と聞くようになった。牛乳やたまごは使わない、アレルギー対応もしています」。顔の見える食材を使用することが、安心して食べられる要因となっている。

「同じものをつくらうと思えばつくれるのが冷凍食品業界。その中で次の世代のために、新たな道をつくるには、付加価値をどれだけ高められるかが重要です。自分たちで企画し、他にないものをつくる。その成功例を次世代に見せることができればと考えています」。持続可能な収益を得つつ、良いものをちゃんと食べたい人に届けることが重要。伊吹島でしか生まれない伊吹いりこの「釜揚げいりこ」のように、きりと光る地元の魅力を冷凍食品という技術で伝えていくのが使命だと、加地さんは軽やかに笑った。

中小企業の事業承継と人生の終い方

高橋 伯昌

中小企業の育成を金融の側面から支援する公的機関で
38年間在職
平成30年6月から事業承継ブロックコーディネーターとして現在に至る



事業承継を検討するうえで相続は切り離すことのできない関係にあります。事業承継は資産を引き継ぐだけでなく、承継者が事業経営を引き継ぎます。資産の承継は現預金・不動産や自社株式の承継であり、一方、経営の承継は後継者や従業員の人に関する承継と情報や知的財産の承継です。

ちょうど、このリレーエッセイのお話をいただいたころ、NHKスペシャルで大廃業時代 ～会社を看取(みと)るおくりびと～ という放送がありました。要旨としては、「中小企業の廃業件数はこの5年で20万件、年間4万件を超える、大廃業時代を迎えている。経営者の8割以上が、周囲の誰にも相談できず、孤立したまま廃業に追い込まれているため、専門家は『企業の孤独死』と呼び警鐘を鳴らしている。取引先企業や地元の金融機関に大きな損害を与え、地域経済の生態系を崩壊させかねない『リスクある廃業』が広がっている。そうした事態を未然に防ごうと、弁護士や経営コンサルタントなどの専門職が廃業に寄り添う活動に乗り出し、通称『企業のおくりびと』として動き始めている。」というものです。

業績が良くそれなりの規模の会社でも子どもが事業を継がないこ

とも多く、後継者が不在の事例も増えていると言われています。昨今の風潮として職業倫理が希薄になっているなか、働き方改革の影響もあって人手不足は顕在化しています。そうしたことによって廃業を選択する経営者が増加しており、そのことは、社会的、経済的な損失を意味します。企業の所有と経営の分離を進め、不動産を予め売却して、そのまま居住することや事業所を使用するリースバックの仕組みが活性化すれば、自分の亡き後の不動産処分を心配することなく経営者がよく言う倒れるまで仕事を続けたいという思いを実現することが可能です。そして然るべき時に事業経営を譲渡することで経営資源を引き継げば良いわけです。

事業承継とは、その先にあるもの、つまり人生の終い方の端緒になるのかなと思います。ところで、齢を重ねて私はテレビから流れてきた小田和正の「小さな風景」の「明日は必ずいい日になるから」のフレーズが頭から離れません。今、経営者に接する仕事をしていて根底にあるものです。中小企業支援としての良質な情報提供を行うことが、経営者が未来に対しての希望を持てるように歩を進めるうえでの一助になると信じています。

かがわ発!創業シンポジウムを開催します!

公益財団法人かがわ産業支援財団では、香川県からの補助を受け、創業を決意した方や、事業を立ち上げて間もない方が直面する、多くの経営上の悩みや課題の解決に役立つシンポジウムを開催します。特別講演として、全国的に活躍されている経営者から、自身の創業体験を踏まえた、創業予定者や創業後間もない方の課題解決につながる内容をお話いただきます。

また、県内で創業し、事業を継続している創業の先輩3名に、自身の創業事例を発表いただく機会も設けていますので、興味のある方は奮ってご参加ください。

- 開催日** 令和2年1月23日(木)13時～16:50(交流会:17:00～18:00)
- 場 所** 香川産業頭脳化センタービル2階 一般研修室(高松市林町2217-15)
- 特別講演** (株)グラディア 代表取締役 森本 麻紀 氏
- 事例発表** 本屋ルヌガンガ、まめまめびーる、Kaorin
- 受講料** 無料(※交流会のみ会費制(会費:1,500円程度))

お問い合わせ先 公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 企業支援課
高松市林町2217-15 TEL.087-840-0391 FAX.087-869-3710

総務部

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地15
香川産業頭脳化センタービル1F・2F
総務課
TEL(087)840-0348 FAX(087)869-3710
企画情報課
TEL(087)868-9901 FAX(087)869-3710
ファンド事業推進課
TEL(087)868-9903 FAX(087)869-3710
施設管理課
TEL(087)869-3700 FAX(087)869-3703

企業振興部

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地15
香川産業頭脳化センタービル2F
企業支援課
TEL(087)840-0391 FAX(087)869-3710
取引支援課・海外展開支援室
TEL(087)868-9904 FAX(087)869-3710

技術振興部

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地16
FROM香川1階
産学官連携推進課・健康産業プロジェクトチーム
TEL(087)840-0338 FAX(087)864-6303

地域共同研究部

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地43
RISTかがわ1階
研究管理課・研究開発課
TEL(087)869-3440 FAX(087)869-3441

知的財産支援部

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地15
香川産業頭脳化センタービル2F
知的財産支援課
TEL(087)867-9577 FAX(087)867-9365
知的財産普及課
TEL(087)869-9004 FAX(087)867-9365

公募予定 (補助金、出展者募集等)

募集期間	名 称	内 容	担当課
募集中 ～1月24日	令和2年度 新かがわ中小企業応援 ファンド等事業	中小企業者などが行う研究開発や 販路開拓、人材育成などの取組を 支援します。(助成金)	〈総合窓口〉 ファンド事業 推進課